

2015年5月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

活動日誌		
5月	1日	消費者月間啓発チラシ配布(JR 宇都宮駅)
	7日	常務理事会
	11日	食肉センター整備検討協議会理事会・総会
	13日	カレッジ「国際医療大学」
	14日	風見総会・栃木放送番組審議会・小山市防災会議
	15日	消費者の集い
	16日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	17日	マイフェスタmy宇都宮・サポートネット総会
	18日	適格消費者団体研究会
	19日	ふれあいお茶会・県連監査・中央労金打合せ
	20日	宇都宮大学生協総代会
	21日	とちぎ食の安全ネットワーク(全体会)・地産地消県民運動実行委員会
	22日	元気な森づくり県民会議総会・足利工業大学生協総代会
	25日	第9回「組合員理事・組織担当職員学習会」
28日	農協連生協総代会・プリアストン生協総代会	
29日	定例理事会・栃木県労働者福祉センター総会・栃木県労働者福祉協議会総会	
30日	栃木労働福祉事業団総会	
6月	1日	JA栃木中央会「TPPを考えるフォーラム」・くらし部会
	2日	とちぎ消費者ネットワーク幹事会・役員推薦委員会
	3日	栃木県次期プラン策定懇談会
	4日	常務理事会・宇都宮市職員生協総代会
	9日	危機管理課来協
	11日	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会・栃木放送番組審議会
	12日	日本生協連総会
	13日	よつ葉生協総代会
	14日	母親大会
	15日	マーケティング協会理事会
	16日	ふれあいお茶会・とちぎコープ総代会
	17日	バルシステム茨城総代会
	18日	生活クラブ生協総代会・学校生協総代会
	19日	バルシステム群馬総代会
	22日	県職員生協総代会・適格消費者団体研究会
	23日	農政課来協
	25日	第10回「組合員理事・組織担当職員学習会」
26日	第46回通常総会	
27日	いわき市四倉仮設住宅お茶会	
28日	医療生協総代会	
30日	マーケティング協会総会・とちぎ消費者ネットワーク幹事会・一般社団法人総会	
7月	1日	農政審議会
	13日	くらし部会
	14日	常務理事会・防災交流会・県連活動推進委員会 14-15
	15日	食品表示法に係る説明会(栃木県)
	16日	とちぎ食の安全ネットワーク「HACCP についての学習会」
	17日	宇都宮短期大学カレッジ・水郷水都全国会議(沖縄大会)17-19
	21日	とちぎ消費者ネットワーク幹事会・地連運営委員会
	31日	栃木県労働者共済生活協同組合(全労済)総代会

県連活動

1. 機関運営

5月7日第8回常務理事会が開催されました。議案は、総会の全体的な準備を行い、理事会付議議案について確認をしました。

5月29日は、第7回理事会(15名中、11名参加)開催されました。総会準備で、付議議案5議案の確認を行いました。第1号議案「2014年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件」及び監査報告 2号議案「2015年度事業計画及び予算決定の件」 3号議案「役員補充選任の件」 4号議案「役員(理事、監事)報酬枠決定の件」 5号議案「議案決議効力発生の件」となり、役員補充選任では会員区3名の補充を行い、全体区で役員枠を1名増やし理事会推薦者を決定しました。役員は理事16名・監事2名の18名となりました。次に、会費の確認議案では会費規程の再改定について確認した上で、2015年度会費の確認を行いました。協議事項では、総会運営について役割とタイムスケジュールの確認をし、報告事項では監事監査報告、代議員名簿確認、会員報告とを行い、最後に社会福祉法人「栃木いのちの電話」の支援依頼を行いました。

2. 『組合員理事・組織活動担当職員学習会』の開催

5月25日、第9回の学習会が終了しました。生協を運営する上で切り離せない経済の問題について「日本経済(アベノミクス)と日々の暮らしの関係について」と題し、高崎経済大学経済学部 教授 矢野修一氏にご講演をいただきました。分散会では、今日の講演で感じたことやこれからどんな活動が大切かを話し合いました。

	日	テーマ	講師	参加
1	9/22	「協同組合思想とその歴史」	栃木県生活協同組合連合会 竹内会長理事	36人
2	10/27	「今なぜJA改革なのか」	宇都宮大学 農学部 農業経済学科 秋山満教授	35人
3	12/01	「共有を深めるワークショップを学ぶ」	宇都宮大学 教育学部 陣内雄次教授	39人
4	12/15	「昨今の消費者問題と消費者市民社会の意義」	横浜国立大学 教育人間科学部 西村隆男教授	64人
5	1/20	「山谷の現状からみえてきた事 地域住民による生活困窮者の支援」	NPO法人自立センターふるさとの会 滝脇憲 常務理事	40人
6	2/23	「くらしから考える生協の活動」	教育アドバイザー毛利 敬典氏	35人
7	3/16	「栃木県という地域が抱える様々な問題について」	NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事 安藤正知氏	29人
8	4/27	「いごちの良い場のあり方・つくり方」	至誠キートスホーム施設長 大村洋永氏	34人
9	5/25	「日本経済(アベノミクス)と日々の暮らしの関係について」	高崎経済大学経済学部 矢野修一教授	33人
10	6/22	「私たちが考える生協の役割について」	参加者全員ワークショップ	

3. 栃木県適格消費者団体研究会の開催と参加

栃木県における適格消費者団体の設立に向けた研究会「栃木適格消費者団体研究会」が発足しました。服部弁護士と生協連竹内会長理事が呼びかけ人となり、5月18日に第一回が開催されました。団体は、今後、立ち上げまでの具体化や学習会などについて、話し合いをして行く予定です。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

5月21日、第1回全体会が開催されました。

全体会を使った学習会では、「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応について」と題して、独協医科大学小児科准教授吉原重美氏に講演をいただきました。62名の参加があり、基礎知識とアナフィラキシー症状の対応などを学ぶ機会となりました。

全体会では、2015年度の学習会と食品安全フォーラム及び食品安全セミナーの日程や内容について確認をいたしました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

定例の会議はありませんでした。

5月は消費者月間でしたので、5月1日に県と宇都宮市が行うJR宇都宮駅構内での消費者月間啓発チラシ配布に協力しました。また、5月15日の「消費者のつどい」にも参加しました。基調講演では「あなたに身近な消費者問題」と題し弁護士の菊地幸夫氏による講演があり、高齢者の消費者被害防止のための取組事例発表では、「那須烏山市における高齢者の消費者被害防止のための連携状況について」、寸劇「軽度認知症って知ってっけ」が、栃木県消費生活リーダー連絡協議会那須烏山支部によって披露されました。また、「あなたはどちら？だまされやすさ心理チェック」が栃木県市町村消費者団体連絡協議会により披露されました。約300人が集まり、県連からは会員中心に46人が参加しました。

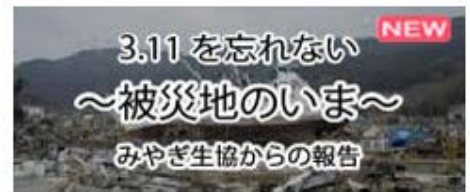
また、5月13日にとちぎ消費者カレッジの第一回会場となる「国際福祉医療大学」で2回に分けて1年生を対象に実施されました。テーマはともに「あなた！狙われているかも？～20歳になる前に知っときたいこと～」、講師はNPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田英郎氏でした。参加は、合計941名。「今回の講義では、知らないことが知れて、為になるような話がたくさんあって良かった。今回のキーワード”無視”をして請求などの罠にかからないようにしたい。」と、勉強になった。注意したい。の感想が寄せられ、全体で84%の受講者が参考になった。大変参考になった。とアンケート回答しています。

5月17日には「マイフェスタ my 宇都宮」が開催され、宇都宮市消費者団体連絡協議会に加盟しているとちぎ消費者ネットワークとして2名が参加しました。

震災支援活動

- みやぎ生協から発信される「3.11を忘れない 被災地のいま」をホームページで連続掲載支援しています。

現在、第21回 苦しみの声をあげない生活困窮者をアップしました。



- 東日本大震災、福島第一原発事故避難者支援「お茶会」の取組み

・第42回ふれあいお茶会

開催日時：2015年5月19日（火） 午前10時～12時

開催場所：特別養護老人ホームみどりの樹

参加避難者（9名）：浪江町5名（内子供1名）、福島市1名、双葉町1名、飯館村1名、須賀川市1名

スタッフ（10名）：県連（9名）・ウィズ（1名）

福島県復興支援課（1名）：参加合計大人19名、子供1名、合計20名

（スタッフの反省会から）

- ・ 高齢の方、昼間一人で居るのは寂しいと言っていた。今後も何らかの形で集まる機会が必要。
- ・ 高齢の方、以前は答える程度だったが最近は馴染んだようでおしゃべりも自らするようになった。
- ・ 高齢の方の場合、生活が受け身になりがちなので生き生き暮らすための後押しが必要。
- ・ ある参加者の奥様は最近ふさぎ込んでいることが多いとのこと。その方の実家付近は黒い袋の置き場所になっている。
- ・ 料理がお好きな方、餃子だけは作ったことがないとおしゃべっていたが、みんなで楽しく作ることができた。
- ・ その方にとっては楽しい話も、他の方には受け入れがたい時もある。しかし食を共にすることで気持ちひとつになっていく様子が分かった。
- ・ ある方がタブレットを使いこなしている様子を見て、ネットを通じて地元の方たち同士で共有できていると感じた。
- ・ 以前から気にかけていた方、再び体調が悪いと参加者の方へ連絡があった。（以前から団地内でじっくり聞いていないと聞いていた）

・第37回いわき市四倉仮設住宅お茶会

開催日時：2015年5月16日(土曜)

開催場所：いわき市四倉仮設住宅お茶会

参加避難者(9名)

スタッフ(10名)：ボランティア(1名)・よつ葉生協(1名)・とちぎコープ(5名)・県連(3名)

(内容)

今回の手芸では、ガラスのコップに好きな生花をさして「小さなフラワーポット」をつくりました。手軽にできて、いろいろな場所に飾れるので好評でした。手芸をしながらの会話では、「避難の際にペットを置き去りにしてしまったこと」「仮設住宅の延長が決まったこと」「仮設では、両側の音が気になること」「仮設に住む人も減り、移動販売車が来なくなったこと」「除染は進んでいるが、削る取った跡に他から持ってきた土を入れるために、植生が変わってしまうこと」「帰宅が始まった地域で性犯罪も起きていること」などまだまだ困難なことがあることが話されていました。

お楽しみの食事は、小女子と大葉の入った「おにぎり」と「そば寿司(いなり揚げにそばが入ったもの)」をメインにサラダや漬物などでした。デザートはよつ葉生協から提供された「今川焼」と「エクアドル産バナナ」でした。「おいしくて珍しいものも食べられる」と好評でした。

男性グループは、「水石山」に出かけました。前回、山頂付近で馬が放牧されていましたが、今回は会えませんでした。山頂から雨上がりの雲海を見ることができました。

参加者の方から、山菜のてんぷら(タラの芽、ウド、コシアブラ、お茶など)を差し入れていただきおいしくいただきました。次回は、6月27日(土)です。

以上